



平成29年8月30日

午前・後8時58分受領

平成29年8月30日

南山城村議会議長 廣尾正男 様

南山城村議会議員 比久保浩司 様

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
大災害の村への応援受援体制に付いて	この30年間の大地震発生確率が、南海トラフ巨大地震88%、首都直下地震70%となっている。大地震がいつ起こってもおかしくない現在、村のBCP(事業継続計画)は、どうなっているのか。	村長
村の存続を目的とした観光事業への本格的な参入を目指して	①訪日外国人の旅行者は、平成28年度2,404万人、旅行消費額は約3兆7千億円という報告がなされています。国は2030年度6,000万人、15兆円という目標を示しました。これは、平成27年度の農業総産出額8,8兆円を大きく上回る額になっています。国がこれだけの目標を立てている以上、村の本格的な参入を目指していかねばならないのは、②又、人口増加に成功している	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携 150 ページ参照)

2 質問の相手は、村長、行政委員会の長または監査委員とします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	過疎地域は間違いなく観光事業に取り組み、成果を上げたい。そこで提案ですが、観光の起爆剤として、ヘリポート整備を考えた方がいいでしょうか。平日には、観光のツールとして、又、有事には地域防災の観点からも、専用ヘリポート整備を考えた方がいいでしょうか。	
村道、農道、林道の維持管理について	道は村が生活を営む上で大切な物である。①村内の道の現状の把握は、できているのか。②特に獣害による道の崩壊が多くあるが、どの様にしていくのか。③耕作放棄地が増え、受益者が少なく負担が大きくなる現状である。負担軽減は、できないのか。	村長